

落合 範良

(平政・公明党)

木造住宅の耐震診断、耐震補強

【問】耐震改修促進計画を5年延長、目標耐震化率75%は、達成が厳しく思う、何か秘策はあるか。また、寝室等を局部的に補強する耐震シェルターや防災ベッドへの支援は考えられないか。

【答】目標達成は非常に難しいと考えているが、耐震改修促進事業を活用して改修を行う場合、さらなる支援ができないか検討したい。耐震シェルターの設置は、住リフォーム支援事業の補助対象となっているが、PR不足であったと考えられる。今後、周知を図るほか、防災ベッドの購入費用を含めた新たな対策について研究したい。

遊休農地の有効活用

【問】遊休農地でのドジョウの養殖を検討した方が農振除外等の手続が必要で断念したが、何か良策はないか。またマコモダケの販売先等に課題が多いと聞くが何か支援できないか。

【答】遊休農地を解消し、有効活用を促進するための事業に取り組んでおり、制度の周知に努め、利用促進を図りたい。ドジョウの養殖池は、その規模や内容により手続が異なるため、具体的な計画案をお持ちの上、農業委員会に相談してほしい。農作物の加工や販売は、6次産業化推進事業等により支援したいと考えている。

その他の質問事項

- 学校における組体操
- 総合戦略と次期総合計画

落合 康友

(議会改革を推進する諸派の会)

学校給食の残食に対する教員の指導状況

【問】強制的な完食が児童に精神的負担を与える。スナックを抱えさせることなく、児童の自由な食の選択を尊重できるよう、市内公立校給食での残食に対する教員の指導状況を確認する。

【答】各学校では、残食を少なくし、完食できる喜びを、児童生徒自身が味わえるようさまざまな工夫をし、健全な心身の育成のための給食指導をしている。今後も残食に対する適切な指導や取り組みについて情報を収集し、子供たちにとって楽しく健康的な給食の実施に努めたい。

縮小社会における河畔公園整備のあり方

【問】前定例会では事業内容が不透明であるため、市民参画による公園デザインを提言したが、市長の前向きな返答を得られず、当事業予算の修正案提出に至った。整備方針に変更はないか。

【答】事業当初であれば、市民の皆様とのワークショップ等を開催し、進めるところだが、約90%の整備が終了している。また、昨年度、河畔公園の整備に関するアンケート調査を行い、未整備部分に必要な施設については、既に把握しており、現時点では、市民参画型としてワークショップを開催することは考えていない。

その他の質問事項

- イオン出店計画
- 学校給食異物混入の件
- 現状の減塩運動への疑問

菅原 隆文

(よねしろ会)

地元高校生、就職のマッチング

【問】今春の地元高卒就職者は236名、うち地元企業への就職者87名。高卒就職マッチングのため1、2年生を対象に、地元企業と希望者が交流する情報交換事業が必要でないか。

【答】高校生などの採用を希望する地元企業を市のホームページや広報、冊子等で紹介することも、高校生、保護者、教諭等を対象とし、地元企業の魅力を体験していただく「のしろ企業見学バスツアー」を実施している。今後も地域を支える人材となる高校生が、将来に希望を持ち、安心して地元で活躍できる環境を整備したい。

市の風力発電事業、今後の展開と経済効果

【問】新設の県と市の誘致企業「能代サービスセンタ」の目指すところ。市も出資する大型陸上風力事業、計画中の能代港湾洋上風力事業、県北部洋上風力事業の地元への経済効果。

【答】能代サービスセンタは、設置者の中核拠点施設にとどまらず、「エネルギーのまち」を目指す本市にとっても大きな効果をもたらすものと考えている。風力事業は、固定資産税を初めとして、建設時の地元業者への受注増加や雇用の拡大、関連会社の新設等による税収増も期待され、多大な効果もたらされるものと考えている。

その他の質問事項

- 市民参加型風車計画の具体策は
- 無塩梅エキス、ピュールの可能性
- 北高跡地、避難所を兼ねた文化施設を